

ふれんず

児童館だより



CONTENTS

- 令和6年度 事業計画
- 特集 子どもとともにつくる子どもの居場所
～子ども参加事業の実践から～
- 令和5年度「もっと!野遊び・外遊び!」プログラム紹介
- 令和6年度 児童健全育成活動功労者 被表彰者一覧

令和6年度 事業計画

1 総会、役員会、会計監査

- (1) 役員会 4月10日(水) 13:30~15:30 会場:福井県児童科学館
- (2) 総会 4月17日(水) 10:30~12:00 会場:福井県児童科学館
- (3) 会計監査 令和7年3月下旬

2 児童健全育成活動功労者表彰式

- (1) 日時 4月17日(水) 10:00~10:30 会場:福井県児童科学館

3 研修会

- (1) 児童厚生2級指導員研修会(年3回・12科目・全科目オンライン併用)

	開催日	実施科目	会場
第1回	6月18日(火)	ゲーム・運動遊び(科学遊び)、健全育成論	福井県中小企業産業大学校
	26日(水)	表現活動(造形遊び)、個別援助活動	敦賀市東郷公民館
第2回	9月3日(火)	表現活動、地域福祉活動	福井県中小企業産業大学校
	4日(水)	児童の発達理論、安全指導・安全管理、集団援助活動	福井県中小企業産業大学校
第3回	9月10日(火)	配慮を要する児童の対応、児童館論I、児童館論II	福井県中小企業産業大学校

- (2) 福井県児童館(センター)長研修会(年1回・オンライン併用)

・日時 9月11日(水) 13:00~14:40
会場:福井県中小企業産業大学校

- (3) スキルアップ研修会(年2回)

・第1回 11月13日(水) 10:00~12:00 会場:敦賀市東郷公民館
・第2回 12月11日(水) 10:00~12:00 会場:(調整中)

- (4) 地域研修会(要望に応じて開催)

・第1回 7月4日(木)
・第2回 10月31日(木)
・第3回 11月28日(木)



児童館フェスタ2024「わくわくお話し」

4 児童館フェスタ2025

- (1) 日時 令和7年3月8日(土)・9日(日) 9:30~16:30
会場:福井県児童科学館
※児童館活動PRパネル展は令和7年4月16日(水)まで開催

- (2) 企画委員会

・第1回 6月6日(木) 13:30~15:00
会場:坂井市役所 本庁舎2階研修室
・第2回 9月26日(木) 13:30~15:00
会場:坂井市役所 本庁舎2階研修室

5 福井県児童科学館「エンゼルキャラバン」

- (1) 期間 7月23日(火)~8月29日(木)

- (2) 対象 県内の児童館・児童クラブ

- (3) 内容 福井県児童科学館(エンゼルランドふくい)職員が県内の児童館・児童クラブ等に出向いて、「サイエンスショー」または「クラフト教室」を実施

6 第2回福井県児童健全育成研究大会(県大会)

- ・開催日 令和7年度以降

7 第19回全国児童館・児童クラブ大会への参加費用の助成

- ・開催日 令和7年2月15日(土)・16日(日)
- ・会場 松山市総合コミュニティセンター(愛媛県松山市)

8 優良図書(令和5年度「児童福祉文化賞」出版物部門の作品)の貸出(要望に応じて貸出)

9 子育て支援情報誌「児童館だより ふれんず」発行(年3回:6月、12月、3月)

10 全国児童館連絡協議会定期総会 および児童健全育成推進財団会員総会

- ・開催日 5月31日(金) 会場:東京都

特集

子どもとともにつくる子どもの居場所 ～子ども参加事業の実践から～



荒木 裕美 石巻市子どもセンターらいつ館長
(指定管理者NPO法人ベビースマイル石巻 代表理事)

東日本大震災直後に子ども子育て環境を当事者目線で復興させていきたいと団体を立ち上げ、現在児童館運営の他、地域子育て支援拠点事業、子育て世代包括支援センター等運営。こども家庭審議会こどもの居場所部会委員を務める。

「こどもの居場所」と「居場所づくり」

昨年度からこども家庭庁の「こどもの居場所部会」に参加し、こどもの居場所指針の策定に関わらせていただきました。そもそも「こどもの居場所」って何だろう。居場所と一口にいても、みんながそれぞれ思い描く居場所感は全然違うのかもしれない。委員のみなさんとたくさん意見交換をしながら共通理解を重ねながら進みました。

その中で「居場所とは、こども・若者本人が決めるものである一方で、居場所づくりは第三者が中心となって行うものであるため、両者には隔たりが生じ得る。こうした隔たりを乗り越えるため、こども・若者の視点に立ち、こども・若者の声を聴きながら居場所づくりを進める必要がある。」という大事な視点が指針に入りました。



子どもたちの声がつくった児童館

子どもの声を聴く

「では、どうやったら子どもたちの声を聴けるのでしょうか。」といった質問をいただくことがあります。子どもたちが普段遊びながら話していることを「どうせ子どもの言っていることだから」と考えるか、「子どもたちの声や気持ちを知れる貴重な機会」と捉えるか。子どもを一人の人間として尊重していなければ、聴こえてこない声があります。

らいつでは子どもの権利を大切に、子どもと遊び関わることを通して、声を出しやすい環境を作ることを大切にしています。そしてその声を事業に反映したり、地域に届けるなど「子ども参加」を促進することで、らいつが子どもにとって居場所となり、地域にも居場所を広げていきたいと考えています。

そしてその様な活動を続ける中で、子どもたち自身が自分たちの居場所に興味関心を持ち、子どもたちが居場所を作ったり、子どもたちが居場所の視察に行くという動きが出てきたので、その様子をご紹介します。



下増田児童センターのテラスにて

らいつ会議メンバーが他児童館を視察!

らいつでは、利用方法に子どもたちの声を反映するため、小学校4年生から高校生世代までのメンバーが月2回集まり、さまざまな意見を出し合っています。昨年度の会議の中で、「らいつのような、子ども主体で活動している児童館に行ってみよう!」という声の実現し、名取の下増田児童センターへ視察に行きました。

子どもたちと交流や、情報交換をする中で、「館内放送でラジオやBGMを流している」「職員がインカムを付けている」「緊急会議を開いてすぐにルールが変更することができる」など刺激を受けて帰ってきました。さっそく館内放送を子どもたちが自由に使えるようにしたり、らいつ会議に限らず、話し合いたいことがある子たちで会議を開いたりするなど、子どもたちだけでなく職員も影響を受け、実践されています。

SDGs「⑩住み続けられるまちづくりを」から始まった子どもたちの居場所づくり!

らいつでは子どもたちのアクションで「まちを活性化」させることを目的とした「子どもまちづくりクラブ」に小学5年生から高校生世代が参加し活動しています。いつもフィールドワークやおしゃべりから、メンバーの関心のあることでその年度のテーマを決めて、地域のかたへヒアリングをしたりしながら進めていきます。

まちについて気軽にはなすイベント「まきトーーク」でSDGs「⑩住み続けられるまちづくりを」について話したことがきっかけとなり、「いま石巻にいる人のために居場所がほしい」「帰ってくる場所があることが大切」「居場所はまちおこしにもつながる」と居場所に関心が高まり、子どもたちによる「居場所づくりプロジェクト」が始まりました。

実際に地域の児童遊園を使って居場所づくりを企画運営し、活動の振り返りでは、みんなにとって居場所とは?に対して「個人スペースと共有スペースがある」「職員が堅苦しくない、フレンドリー」「どんな人(自分)でもありのまま受け入れてくれる」、そして「第2の家」「子どもだけで集まれる」といった声が出ていました。

さらに、その実践報告を、石巻市で居場所づくりについて官民で話す「居場所づくり懇談会」の機会に、子どもたちの考える居場所として発表し、大人と一緒に懇談しました。

私たちは日常の遊びの中で、たくさんの子どもの声をキャッチしますが、聞いた声をどうしていますか。アンケートで収集した声、そのままになっていませんか。声に応答していくこと、伴走していくこと、そして子どもたちと一緒に決定していくことを大事にしていると、子どもたちから主体的なアクションが出てくると感じます。どんな仕組みや体制があったらできるか、子どもたちの力を信じて、声や気持ちを羅針盤に、いろいろ試していきたいですね。



令和5年度「もっと!野遊び・外遊び!」プログラムに 朝日児童センターのプログラム「かぼちゃのたねをまきました」が Award館(全国1位)に輝きました!

全国1位!



一般財団法人児童健全育成推進財団では、全国の児童館において安全で活潑な遊びの機会を創出するために、「野遊び・外遊び」を推進する研究事業を実施しています。令和5年度は、6月にプログラムの公募があり、全国の児童館から応募のあったプログラムの中から12のプログラム・児童館が選定、年間を通してプログラムが実践されました。実施後プログラムのWEB公開と投票で『朝日児童センターのプログラム「かぼちゃのたねをまきました」』が上位4館に選出。子どもたちの意見の取り入れ方や地域との連携等の点で高く評価され、報告会の参加者投票により令和5年度のAward館(全国1位)に輝きました!今回は、このプログラムの内容や実践のポイントなどを紹介します。

内容 子どもたちの願い「本物のハロウィンかぼちゃをくり抜いてジャックオーランタンを作りたい」。そこで、子どもたちがかぼちゃの種を蒔きました。外で遊ぶことの少なかった子どもたちが、かぼちゃ栽培を通して外へ出る機会を増やし、「外遊び大好き」を子どもたちのアイデアと「やってみよう!」を推進力に展開しました。

プログラム かぼちゃのたねをまきました (越前町 朝日児童センター)

5月

ポイント!
「芽、出るかなあ!みんなドキドキ、地域の方を頼り別畑でも栽培を、小さな子葉がびよこん!やっぴー!」

かぼちゃのたねをまきました。「どうやってまくの?」「土はこれくらい?」「みずをあげなくっちゃ」「ぼくもするよ!みんな真剣です。」

6月

「大きくなったから子葉が枯れてきたね」「もう習ったよ!3年生が低学年の子に教えてくれてすごいなあ、植え替えだ!」

ポイント!

7月

困った事や問題は子どもたちに相談!楽しくなる解決策が!みんな遊びに変えて楽しむ!リスペクトです。

「水やりしたい!」毎日、希望者殺到。「くつも服もぬれちゃった!」と弾む声。「裸足で水遊びしたい!」う〜ん。石がいっぱい。子どもたちが作戦を考えた。石を集めて重さを競う「ロックフェスティバル」。「やるやる!」「やりたい!」闘志満々石拾いの結果、優勝は1年生。いくぞ〜どろんこへGold水遊びへGo!

ポイント!

9月

ポイント!
真夏の暑さで枯れそうになったかぼちゃたち、子どもたちの懸命なやりやが世話が実りました!

畑のあちこちに、ハロウィンパンプキンの鮮やかなオレンジ色が目立ち始めました。さあ、収穫です。「どこを切ればいい?」「切るのはいくつ上かなあ」「これ緑色だけど、取っていい?」収穫はさみを使うのも初めてで不安でいっぱい、緊張するね。大きいかぼちゃや小さいかぼちゃたくさん収穫しました!

ポイント!

暑さも和らぎ、かぼちゃも元気に大きくなりました。園庭で遊びながら、追いかけてこりレー「トム&ジェリー」を開発!外遊びの新しい楽しみが増えています。「外遊び、楽しい!!」

ポイント!

ポイント!
とにかく暑い日が続きました。安全面の確認や保護者への通知を意識しました。

「ゴグルもいるね!」どんどん進む作戦会議。熱中症対策の「スポーツドリンク持参」ポスターも制作。みんなドドロになる気満々。いよいよスタート!「やったー!」「キャー」友だちを追いかけてびしょびしょに。でも「あー気持ちいい〜」おやつタイムで休憩して後半戦。チーム対抗戦ではみんな気合十分。3年生が企画した「どろんこ水遊び」満喫しました!

ポイント!

10月

子どもたちの願いが叶う日がやってきました。ドキドキ、ワクワク。さあ挑戦!かぼちゃの中身「ぬるぬるしてる」「匂い臭い」「平気だよ」「種いっぱい!」とおしゃべりしながら、ジャックオーランタンを作り上げました!

ポイント!
カニカマ用の小さなのこぎりを使うと安全に作れます。

ポイント!
かぼちゃがたくさんできたので、子育て支援センターの親子さんも楽しめました。

地域の方からもかぼちゃが到着。大小全部で257個。1つ1つ丁寧に拭くとキラリと輝き、「これがいい!」と自分のかぼちゃとの出会いに子どもたちもキラキラ。目やロや飾りを付けて「おばけパンプキン」も作りました。

リーダー会議(3年生)でクリスマス会を企画。プログラムや出演希望者の募集などと同時に、お世話になった地域の方々へ、感謝の気持ちを込めて招待状をお渡ししました。合奏やけん玉等の得意技を披露しお礼を伝え、最後には、地域の方も一緒にみんなでダンス。「シングルバルロック」を踊り楽しみました。

行事を決定するのにも運営するの子どもたち。役割分担も出演もやりたいことを決めて楽しんでいます。

ポイント!

12月

プログラムの実践をとおして...

「外遊び…めんどろ。やめとく」子どもたちにとって「外遊びがしたくなる魅力」を探し、子どもたちの願いから栽培が始まりました。念願の『ジャックオーランタン』を作り、地域の方々への感謝や外遊びの楽しさを実感。今では「外で遊ぶ!」と駆け出す子どもたちの姿がまぶしいです。



忌部智子先生
(朝日児童センター)



令和6年度
一般財団法人 児童健全育成推進財団
児童健全育成活動功労者 被表彰者一覧

(敬称略)

市 町	氏 名	所属児童館
福 井 市	宮 原 恵子	福井市くりのみ児童館
	中 川 明美	福井市くりのみ児童館
	豊 田 晋子	福井市つばき児童館
	野 路 優子	福井市とまと児童館

令和5年度
児童厚生2級指導員 資格取得者

本資格は、一定の研修を通して、児童健全育成の
標準的知識・技術を身につけた証として認定されるものです。
令和5年度に取得された方をご紹介します。

(敬称略)

氏 名	所属児童館 (センター)	氏 名	所属児童館 (センター)
岩下 美怜亜	第二粟野南児童クラブ	加藤 涼子	森田第三児童クラブ
田中 悦子	のびっ子クラブ豊第2	向 当 麻由	長泉寺児童センター
種本 千恵子	松岡第一児童クラブ	加藤 仁美	南 条 児 童 館
小武 久恵	松岡第一児童クラブ	山本 ほのか	南 条 児 童 館
阿部 京子	松岡第二児童クラブ	宮川 伸江	大 関 児 童 クラブ
徳山 直美	磯部第一児童クラブ	田原 佳代	わかば児童クラブ
爲口 さゆみ	春江西児童クラブ	勝木 妙子	わかば児童クラブ
野坂 泰代	松岡児童クラブ	高木 由紀子	わかば児童クラブ
坂口 裕子	第二粟野児童クラブ	中村 直子	わかば児童クラブ
前田 清美	中央児童クラブ	川島 邦枝	わかば児童クラブ
田中 美栄	第三粟野児童クラブ	前田 恭子	わかば児童クラブ
森川 郁子	磯部第一児童クラブ	齊藤 絵津子	わかば児童クラブ
澤田 寿美恵	中央児童クラブ	笹川 由美	北部児童クラブ
岡部 美紀	中郷児童クラブ	坂本 典子	大 関 児 童 館
松田 桂子	平泉寺児童館	下宮 ふじ子	朝日児童センター
三田村 純子	湯 尾 児 童 館	中森 陽子	高椋第一児童クラブ
山本 重美	福井市あじさいどうかん	西 嘉美	安居児童クラブ
大塚 千江美	春江西児童クラブ	小澤 菜菜	福井市ひまわり児童館
小柳津 寛	敦賀市立児童文化センター	北川 結依子	木 部 児 童 クラブ
坪田 温江	兵庫児童クラブ	高橋 真樹	福井市ちゅうりっぷ児童館
塩谷 あゆみ	南 児 童 クラブ	本多 修枝	福井市さくらんぼ児童館
山本 陽子	松原児童クラブ	小林 千枝	福井市たちばな児童館
酢谷 桂次	長泉寺児童センター	田中 睦美	福井市とちのき児童館
坂本 律子	春江西児童クラブ	稲木 明日歌	小黒町児童センター
加畑 恵子	たちばな児童クラブ	今江 美紀	春江第二児童クラブ
中垣内 信枝	春江東第二児童クラブ		

*資格認定順です。*所属は令和5年度のものです。

令和6年度
福井県児童館連絡協議会
児童健全育成活動功労者 被表彰者一覧

(敬称略)

市 町	氏 名	所属児童館
福 井 市	古 田 和子	福井市すずらん児童館
福 井 市	布 村 廣美	福井市すみれ児童館
福 井 市	北 井 須美子	福井市もみじ児童館
鯖 江 市	齋 藤 栄子	長泉寺児童センター
越 前 市	久 保 純子	越前市社会福祉協議会
越 前 市	上 島 礼子	南 中 山 児 童 館
越 前 市	倉 橋 明日香	味真野児童センター
越 前 町	忌 部 智子	朝日児童センター
福 井 県	前 田 裕之	福井県児童科学館ボランティア
	上 野 多美子	福井県児童科学館ボランティア
	山 口 直美	福井県児童科学館ボランティア

令和6年度
福井県児童館連絡協議会 役員

(敬称略)

役職名	氏 名	選出区分 市町・地区	現 職
会 長	坪田 昭夫	大型児童館	福井県児童科学館長
副会長	鰐 淵 弥生	福井市	福井市社会福祉協議会 総務企画課長
理 事	岡 田 卓也	敦賀市	敦賀市児童センター長
理 事	福 田 雅一	小浜市	小浜市子ども未来課長
理 事	幅 岸 清美	大野市	大野市児童館長
理 事	熊 野 義広	鯖江市	鯖江市児童館・児童センター連絡協議会長 (鯖江市長泉寺児童センター長)
理 事	高 橋 佳芳里	越前市	越前市社会福祉協議会 越前市児童館長
理 事	池 端 時枝	嶺北地区 (永平寺町)	永平寺町子育て支援課長
理 事	盛 次 晃則	嶺南地区 (若狭町・美浜町・高浜町)	高浜町第一児童館長
理 事	菅 原 義直	大型児童館	福井県こども家族館長
監 事	栗 原 耕	坂井市	坂井市保育課長
監 事	上 坂 健一	丹南地区 (南越前町・越前町)	越前町子ども未来課長

発行者：福井県児童館連絡協議会
福井県児童館連絡協議会事務局(福井県児童科学館内)

〒919-0475 福井県坂井市春江町東太郎丸3-1

TEL: (0776) 51-8000 FAX: (0776) 51-6666 E-mail: kenjiren@angelland.or.jp

